



1968年1月20日設立

2017~2018年度  
国際ロータリー第2750地区多摩中グループ

# 東京昭島ロータリークラブ 会報

会長・鈴木一昭 幹事・森島徳幸

会長テーマ “<sup>いしづえ</sup>礎 から<sup>あす</sup>未来への懸け橋に”



2017年9月21日発行 VOL. 50-10

## 第2422回 2017年9月14日(木) 秋川霊園国際友愛墓碑・墓参例会報告



2017~2018年度  
イアン H.S. ライズリーRI会長

ロータリー:  
変化をもたらす

### 司会 国際奉仕チーム 阿島 征夫 委員



点鐘開会

鈴木 一昭 会長

### 来訪者紹介

阿島 征夫 司会

卓話講師

ASAP副理事長 大沼 陽子 様  
東京米山ロータリーEクラブ2750  
ファオジア・ディナ様

### 来訪者挨拶

東京米山ロータリーEクラブ2750

ファオジア・ディナ様



私は3週間インドネシアに行  
って親戚などの方たちに会って  
きました。

日本に帰ってきて皆様方日  
本の家族に会えて喜んでいま  
す。

### 【チーム報告】

#### 親睦活動出席チーム

出席報告 寺嶋 功 チームリーダー

会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席 内免除会員
49名	5名	44名	31名/3名
事前メイクアップ			本日の出席率
6名			78.72%

※事前メイクアップ  
野村会員、矢口会員、場崎会員  
西野会員、鈴木(圭)会員、柳会員

※メイクアップ  
9月7日例会分 訂正89.58%  
並木会員、小山(満)会員

8月31日例会分 訂正93.62%  
大貫会員



### ◆◆ 例会案内 ◆◆

第2424回例会 9月28日(木)  
50周年実行委員会  
第2回「全体会議」

## <秋川霊園友愛墓碑墓参>

友愛墓碑前にて  
読経・礼拝・墓参



友愛墓碑前にて記念撮影

例会のためセレモニーホール  
あきる野に各自移動

食事タイム



### 会務報告

鈴木 一昭 会長

- 9月7日の母の告別式に際しましては会員皆様方の多数のご供花ご会葬を賜り、お手伝いをいただきました。私の母は16年前の「くじら祭」の前日に脳梗塞で倒れ、16年間闘病生活を送っておりましたが、眠るように旅立ちました。
- 9月12日(火)「くじら祭反省会」が開催されました。



### 幹事報告

森島 徳幸 幹事

- 9月8日(金)多摩中グループゴルフコンペ開催。参加13クラブ中、昭島RCは準優勝、チームメンバーは斉藤会員、菊池会員、三田会員、矢口会員、鈴木(圭)会員。優勝チームは立川こぶしRC、全国大会はありません。
- 地区よりRLI研修の案内 9月20日(水)
- 東京昭島RAC9月例会開催は9月23日(土)
- 啓明学園より「啓明祭(文化祭)」9月22日(金)・23日(土)に開催。
- 2018年4月19日(木)50周年記念式典まで、あと217日。



### 【チーム報告】

#### 睦活動出席チーム

#### ※ニコニコボックス発表

鈴木会長 母の葬儀には皆様にご会葬いただきありがとうございました。

卓話講師ASAP副理事長大沼陽子様、本日はありがとうございます。

東京米山ロータリーEクラブ2750、ファオジア・ディナ様ご来訪ありがとうございます。

森島幹事 ASAP副理事長大沼陽子様、本日はよろしくお願ひ致します。ファオジア・ディナ様、本日はご来訪ありがとうございます。

畢焜会員 大沼副理事長、卓話楽しみにしています。ディナさん、ご来訪をありがとうございます。

西川会員 雨倉さん、入会おめでとうございます。

本日の合計 76,000円  
累計 559,000円  
予算達成まで 1,791,000円



# 卓話

テーマ「カンボジア事業報告」  
ASAP副理事長 大沼 陽子 様



皆様からは継続してご支援をいただいております。心から感謝申し上げます。支援して頂くからにはご報告の義務があると思います。8月に行って参りました報告をさせていただきます。

始めに皆様からお預かりしている寄付がどうなっているのか、についてお話させていただきます。ソーラーパネルはご安心下さい。盗まれておりません。1月に参りましたときに、バッテリーを取り替えるようにお金を渡し、今回行きましたら交換されていました。電気、オルガン、扇風機など活躍しております。もう一つのバッテリーも校長先生にバッテリーの交換についてお願いして参りました。

## 東京昭島ロータリークラブより 中古自転車 40 台・ピアノカ 50 台寄贈



早稲田先生が音楽の勉強をしてく、子供達も音楽を勉強して、楽しんでます。嬉しいですね。

自転車も売られておりません。校長先生には数の把握をお願いしてありましたので、キチンと管理されております。

学校に訪問した際に自転車を配布した子供たちに集まってもらいました。そこで聞き取り調査も致しました。そこで分かった事は、貧困層の家庭に配っておりますので、子供たちの足になっているばかりでなく、家族の足にもなって、とても役立っていると云う事でした。配付した自転車は中古の自転車の中でも少し高い自転車を寄贈しました。お金は掛かりましたが、凄く功を奏しています。安い中国製の自転車は子どもには修理が出来ないと云う事です。日本製は自分で修理が出来から、すごく良いと各学校で言われました。パンクもパンクキットを持っていきましたが、キットは使っていないと云う事でしたが、パンクも自分たちで直しているという事でした。売ってしまう事は考えられない事で、自分たちの役に立っているという事です。

ピアノカは3つの学校に配ってまして、今までは一つの学校が果敢に取り組んでいましたが、それを見てもう一つの学校が挑戦し始めました。

※プロジェクター使用による報告で、ピアノカの演奏を動画で視聴しました。



ぜひ聞いて下さい⇒



一つ残念な事に、みんなで使いすぎて壊れて音が出ないピアノカがありました。これからのピアノカの補充が課題かなと



昭島ロータリークラブより寄贈の自転車贈呈式の様子

思っています。只、今私の頭中にある構想は、啓明学園の小学校でピアノカの個人持ちを始めました。中学校になると使いません。小学校6年生になって使わないとなったら、集めてカンボジアに持って行けたらいいなと思っています。又、その時にはお力をお貸し頂きたいと思います。

この様に皆様からいただきましたソーラーパネル、自転車、ピアノカはしっかりと役立っております。この様に報告できるという事は私たちが継続した活動を目指して現地に何度も行っているからです。私たちの活動は10年を迎えました。10周年記念を開かせていただきましたが、この10年間どんな風が変わってきたのか、少しお話させていただきます。

知っておいて頂きたい事があります。1975年から1979年に行われた事が今でも尾を引いていると云う事があります。国を引っ張っていく年齢層と云えば30代以上40.50. 60.70代の方々ですが、カンボジアで考えた時に55才以上の知識のある方々は殆ど殺されています。30代後半から40.50代の方たちは殺されなくても、ポル・ポト時代に教育が受けられなかったか、教育のシステムが確立されていなかった時代に当たっていますので、国を引っ張っていく力がまだないです。この事についてぜひ覚えておいて頂きたいと思います。

10年前には50%の子どもが学校に行っていませんでした。小学校は本当に足りませんでした。10年間国は教育の政策をおこなってきた結果各国が少しずつ支援して、現在は私たちの支援地区で未就学児童の改善は行われています。小学校の数もやや落ちついてきたように思います。これからは中学校、高校の不足です。中学校を作り今年卒業生が出ましたので高校を建てましたのでやっと高等教育までの道筋ができました。ただ、この国の現場は教える事の難しさは本当に大変です。

国の政策も少しずつ変わり、先生の給料も安定して支払えるようになり、先生のなり手も少しずつ増えてきました。

※この後、教育現場の現状について、ASAPがこれから計画したい事などお話いただきました。配付された「カンボジア通信」10周年記念号もお目通し下さい。

## 謝辞 奉仕プロジェクト委員会 坡山 浩二 委員長



カンボジアの現状について、私共承知しております。これからも支援の輪を広げていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

寄付金贈呈 鈴木 一昭 会長



寄付金贈呈 / 左より 坡山委員長、森島幹事、大沼陽子様、鈴木会長



閉会点鐘

鈴木 一昭 会長